Form No. 3433-756 Rev A

フローメータセンサー整備キット

Multi-Pro® ターフスプレーヤ

モデル番号 138-6260

取り付け要領

安全について

散布車両の *オペレーターズマニュアル*に記載されている安全事項や操作手順をよくお読みください。

⚠ 警告

この散布装置で取り扱う農薬は人体や動植物、土壌などに危険を及ぼす可能性があるので取り扱いには十分注意すること。

- **自分自身の安全を守るために、農薬を取り扱う前に、容器に張ってあるラベルや安全データシートSDSなど取り扱い上の注意をよく読んで理解し、薬剤メーカーの指示を守ること。たとえば、保護マスクとめがねゴグル、手袋など、薬剤との接触を防止し危険から身を守ることのできる適切な保護対策を講じる。**
- **散布する薬剤は一種類とは限らないので、取り扱っているすべての薬剤に関して注意事項を必ず確認する。**
- **上記安全確保に必要な情報が手に入らない場合には、この装置の運転を拒否してください。**
- **散布装置の取り扱いを開始するまえに、その装置を前回使用したあとに薬剤メーカーの指示に従って3回のすすぎ洗いや必要な中和処理が行われたかを確認すること。**
- **十分な量の水と石鹸を身近に常備し、薬剤が皮膚に直接触れた場合には、直ちに洗い流してください。**

薬剤の安全管理

この散布装置で取り扱う農薬は人体や動植物、土壌などに危険を及ぼす可能性があるので、取り扱いには十分注意してください。

- 各農薬の情報を良く読んでください。上記安全確保に必要な情報が手に入らない場合には、この装置の運転を拒否してください。
- 散布装置の整備や修理をする時は、その前に必ず、その装置が薬剤メーカーの指示通りに中和作業が行われた上で 3 回のすすぎ洗いを実行済みであること、さらに、すべてのバルブにそれぞれ 3 回の開閉操作洗浄が実施されていることを確認してください。
- 十分な量の水と石鹸を身近に常備し、薬剤が皮膚に直接触れた場合には、直ちに洗い流してください。
- 自分自身の安全を守るために、農薬を取り扱う前に、容器に張ってあるラベルや安全データシートSDSなど取り扱い上の注意をよく読んで理解し、薬剤メーカーの指示を守りましょう。
- 農薬を取り扱う時はいつでも自分の身体を守ることを忘れずに。薬剤との接触を防止し危険から身を守ることのできる適切な防具PPEを着用してください。例えば
  - 安全めがねやゴーグル、フェースシールド
  - 防護服
  - 呼吸器やフィルタ付きマスク
  - 薬剤耐性手袋
  - ゴム長靴または頑丈な防水靴
  - 清潔な着替え、石鹸、使い捨てタオル
- 薬剤の取り扱いに関する適切な教育訓練を受けてください。
- 目的にあった適切な薬剤を使用してください。
- 薬剤を安全に散布するために、薬剤メーカーの指示を必ず守ってください。推奨されている散布水圧を超えないよう注意してください。
- 周囲に人や動物、特に子供いるときには農薬の調整や機材の洗浄などを行わないでください。
- 薬剤の取り扱いは換気のよい場所で行ってください。

© 2019—The Toro® Company
8111 Lyndale Avenue South
Bloomington, MN 55420

製品の登録は www.Toro.com.

この文書は翻訳です。(JA)
Printed in the USA.
禁無断転載
3433-756 A

- 薬剤を取り扱い中や近くで作業中は、飲食や喫煙をしないでください。
- 散布ノズルを洗浄するとき口で吹いたり、口に含んだりしないでください。
- 農薬を取り扱う作業が終了したら、直ちに手足や露出部をよく洗ってください。
- 農薬は別の容器に移し替えたりせず、また安全な場所で保存してください。
- 使用しなかった薬液や薬剤容器は、メーカーや地域の規則に従って適切に廃棄してください。
- 薬剤や薬剤から発生する蒸気は危険です。絶対に、タンクの中に入ったり、頭を入れたり、タンクの上に顔をさらしたりしないでください。
- 国や自治体などの法律や規則を守って散布作業を行ってください。

取り付け

マシンの準備を行う

⚠ 注意

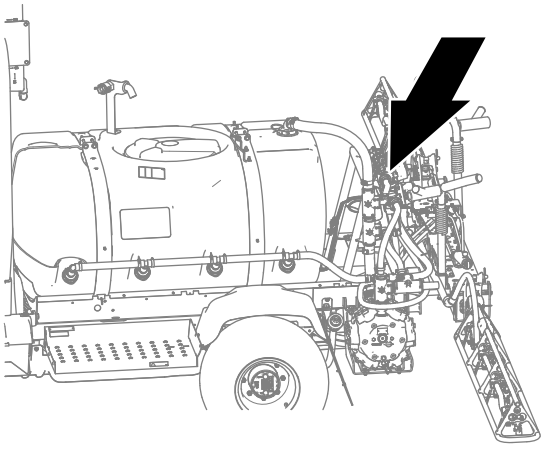
農薬は人体に危険を及ぼす恐れがある。

- **農薬を使う前に、農薬容器に貼ってあるラベルをよく読み、メーカーの指示を全て守って使用する。**
- **スプレーを皮膚に付けない。万一付着した場合には真水と洗剤で十分に洗い落とす。**
- **作業にあたっては保護ゴーグルなど、メーカーが指定する安全対策を必ず実行する。**

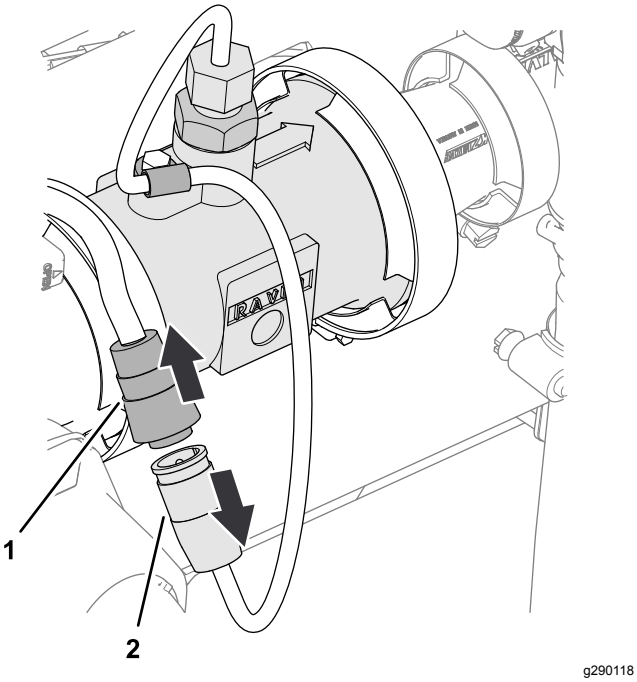
1. 平らな場所に駐車する。
2. トランスミッションをニュートラルマニュアル車の場合または PARK 位置オートマ車の場合にセットする。
3. 駐車ブレーキを掛ける。
4. エンジンを止め、キーを抜き取る。
5. 各部が完全に停止してから運転席を離れる。
6. スプレーヤを洗浄する*オペレーターズマニュアル*の「スプレーヤの洗浄」を参照。
7. マシンの各部が冷えるのを待つ。

フローメータのセンサーを外す

1. 車両のワイヤハーネスの 3 ソケットコネクタから、フローメータのセンサー用ハーネスの 3 ピンコネクタを外す図 1。



g290117

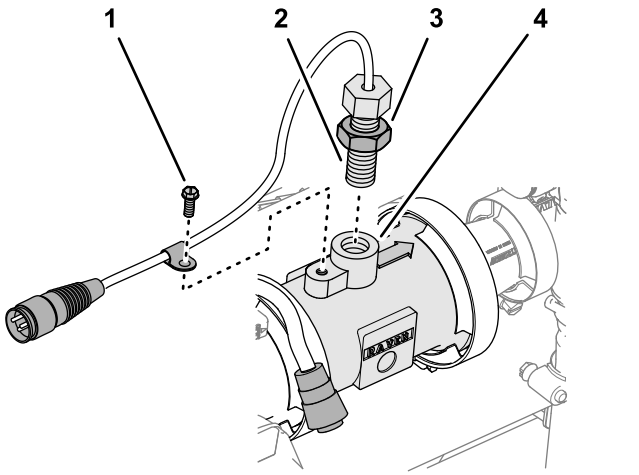


g290118

図 1

1. 3ソケットコネクタ車両のワイヤハーネス
2. 3 ピンコネクタフローメータのセンサー用ハーネス

2. センサーのハーネスをフローメータのボディに固定しているボルトを外す図 2。



g290119

図 2

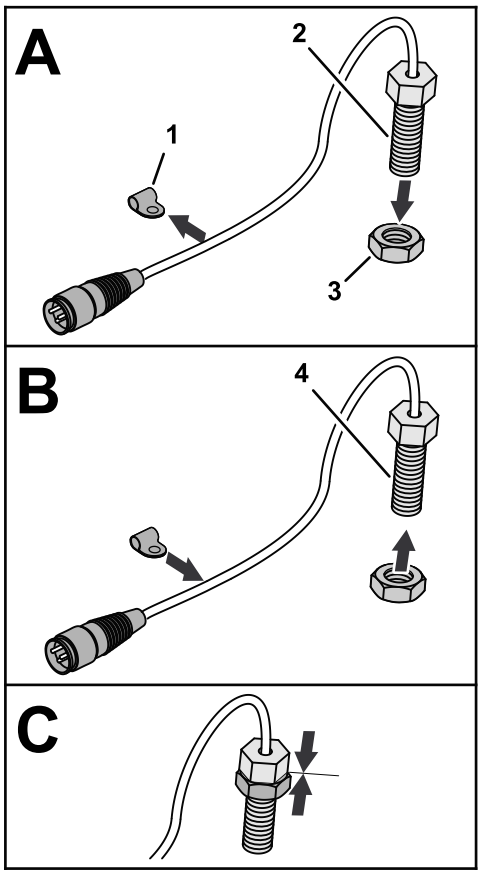
1. ボルト
2. フローメータのセンサー
3. ジャムナット
4. フローメータのボディ

3. センサーのジャムナットを外して、フローメータのボディからセンサーを外す図 2。

フローメータのセンサーを取り付ける

センサーの準備

1. 古いセンサーハーネスからサポートクランプを外す図 3。



g290120

図 3

1. サポートクランプ
2. センサー旧
3. ジャムナット
4. センサー新

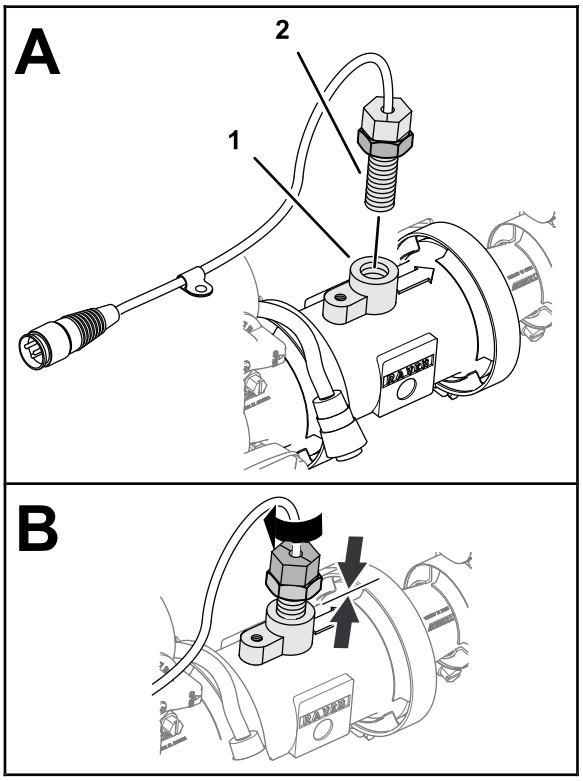
2. 古いセンサーからジャムナットを外す図 3。

   注 古いセンサーは廃棄してください。

3. 新しいセンサーのハーネスにサポートクランプを取り付ける図 3。
4. 新しいセンサーにジャムナットを取り付け、根元まで送る図 3。

センサーをフローメータに取り付ける

1. フローメータのボディにセンサーを取り付ける右ねじセンサーが穴の底に当たるまでねじ込む図 4。

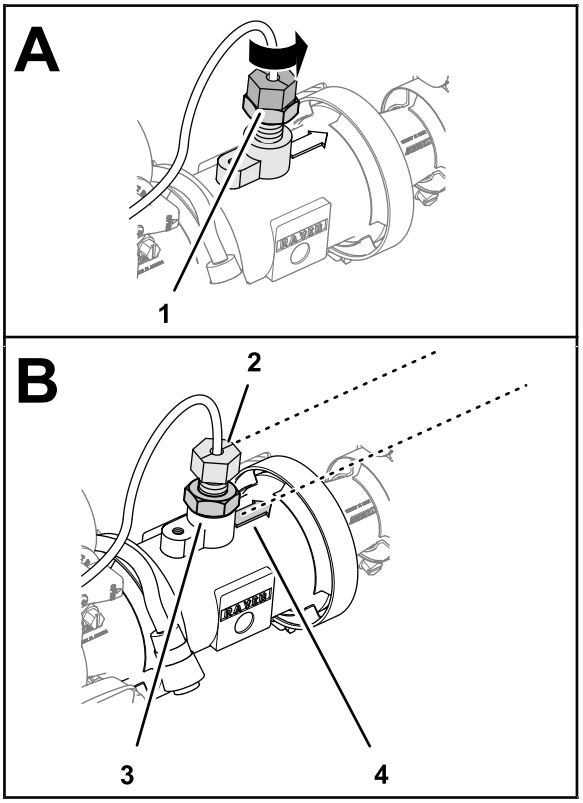


g290132

図 4

1. フローメータのボディ
2. フローメータのセンサー

2. センサー上部にある合印がフローメータボディの合印矢印に合わない場合には、センサーを左回しに戻して合わせる図 5。

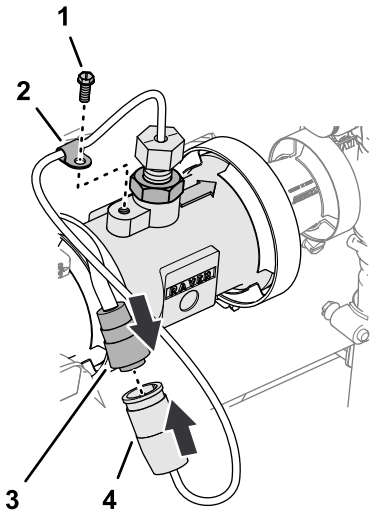


g290131

図 5

1. フローメータのセンサー
2. 合印センサー
3. ジャムナット
4. 矢印フローメータのボディ

3. センサーが回転しないように押さえながら、ジャムナット図 5を 2.26-2.82 N·m0.23-0.29 kg.m = 20-25 in-lbにトルク締めする。
4. センサーのハーネスを、フローメータのボディにボルトで固定する図 6。



g290146

図 6

1. ボルト
2. サポートクランプ
3. 3ソケットコネクタ車両のワイヤハーネス
4. 3 ピンコネクタフローメータのセンサー用ハーネス

5. 車両のワイヤハーネスの 3 ソケットコネクタに、フローメータのセンサー用ハーネスの 3 ピンコネクタを接続する図 6。

車両のソフトウェアを更新する

1. 車両のソフトウェアの更新が必要な場合には、ソフトウェア更新対応表を参照してください。
2. 車両のソフトウェアの更新が必要な場合には、弊社ディストリビュータにご連絡ください。

ソフトウェア更新対応表

モデル	モデル No.	シリアル番号
マルチプロ 5800 エクセラレートガソリンモデル	41394	316000001–05060197
マルチプロ 5800 エクセラレートディーゼルモデル	41393	316000001–404847104
マルチプロ 1750	41188	314000001–405240880
マルチプロ WM	41240	314000001–404696508
上記以外のすべてのマシン	41240	314000001–404696508
上記以外のマシンでは、新しいフローメータに付の CAL 値を使用してコントロールやディスプレイのキャリブレーションを行ってください各マシンのオペレーターズマニュアルを参照してください。 ***重要*** **新しいフローメータを正常に機能させるためには車両のソフトウェアの更新が必要です。**		

メモ

メモ



Count on it.